

グループホーム アート園

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		今までの理念を見直し地域の方と交流を深め地域に開かれた園となるように掲げている
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		朝の申し送り時リーダーと夜勤者にて唱和確認し理念に基付いたケアを心掛けている
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる		園の玄関やフロアーに掲示したり運営推進会議で報告書内にて提示して地域のふれあいサロンに参加して理解してもらえるよう取り組んでいる
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている		散歩や買物に出掛けた際地域の方々と挨拶を交わしたり話しをしている。また地域の清掃活動や敬老会等にも参加してふれあう機会を設けている
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている		銀行に利用者の作品を展示してもらったり地域の敬老会、公園の掃除、ふれあいサロン等に参加し交流に努めている。また中学生の体験学習の受け入れを行っている

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の清掃活動に職員と利用者も参加したり、民生委員の方を通じて地域の方に介護相談に乗る事をつたえている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価委員会を設けており前回の改善点を話し合ったり他職員の意見を取り入れ全員で検討し改善に取り組んでいる。決まったことは改善計画書を作成して各フロアーに回覧し取り組み内容を全員で認識している		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者の状況、サービスの内容の説明及び前回の評価結果と取り組みを報告し意見をもらう様にしている。民生委員を通じて地域との連携で清掃や行事、ボランティア等に参加したり災害協力の確認をしている		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	実際に行き来する機会は今ところない		定期的に行き来する機会をもち、情報交換を行いサービス向上に役立てていきたい。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現時点では活用できる該当者はいないが教育委員会を設けており権利擁護や成年後見人制度については勉強会にて職員全員が理解できるようにしている		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法についての勉強会を開き、理解を深めている。また職員もお互いに気を付けるよう防止に努めている		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時には、面接にて本人や家族の要望や意見を聞き取り事業所のケアに関する考え方や取り組みを充分説明して納得された上で契約して頂くように努めている</p>		
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>入居者同士の会話に耳を傾けたり、様子から不安、不満が無い居室にて話せる様にし、問題がある時は職員全員で相談している。また週に1度くらい施設長が利用者とは話し意見を聞くようにしている</p>		<p>民生委員の方が外部者として家族の意見を聞いて下さることになっているので来園された時に各フロアーに訪れてもらい利用者の意見を聞いて頂く様に相談している</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族係を設けており窓口となって活動しており定期的に園便りを発行し、健康状態や日常の様子などを知らせており、変化が生じた時は随時電話等にて相談対応するようにしている。金銭管理は預かり明細書を各家族に送付し確認印を捺印して返送して頂いている</p>		
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時は家族の方と話したり、意見箱の設置、家族会で意見が出せるようにしている。また地域の民生委員の方とも外部の意見や苦情を聞いて頂き、運営推進会議で取り上げてもらうようにしている</p>		
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>意見や提案がある場合はその都度報告したり毎週の申し送り施設長や代表職員が参加して報告相談している</p>		
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者が安全に生活できるように日勤帯では三人体制を組み、状況の変化に対応できるようなローテーションを組めるよう努めている</p>		
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>異動は極力行わないよう配慮しているが異動の際は利用者には安心して頂く様説明したり新しい職員であることをきちんと紹介し利用者のダメージを防ぐ為に細かい部分まで申し送りしている</p>		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	<p>人権の尊重</p> <p>法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるように配慮している。</p>	<p>職員の採用にあたっては性別や年齢を理由に対象から排除しないようにしている。採用後も研修や勉強会を通してその方の能力を發揮できるよう配慮している</p>		
20	<p>人権教育・啓発活動</p> <p>法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる。</p>	<p>ホーム理念や介護理念を通して外部の研修に参加したり、事業所内での勉強会で報告し皆で共有するようにしている</p>		
21	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>福岡市の事業者協議会に加入しており研修に参加後、参加者は勉強会の開催を行い職員で周知し共有している</p>		
22	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>福岡市の事業者協議会に加入しており、研修にて同業者と情報や意見の交換を行い事業所のサービスの向上に役立てている</p>		
23	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>定期的に個人面談の機会を設けたり親睦の場を作ったり、気分転換の為に休憩室を利用している。また施設長は職員の不安、不満を把握できるように努めている</p>		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	心身の健康を保つ為に、健康診断を行っている。また施設長は定期的にフロアーに訪れ業務体制を把握する様に努めたり外部研修の参加を促している		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に施設長が自宅や病院へ行き、良く話を聞くことで生活状態を把握するよう努め、本人が求めていることや、不安を理解し、受け止める努力をしている		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時に家族の不安や求めていることを理解し、事業所としてはどのように対応できるか、事前に話し合いをしている		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の意見を尊重し、以前利用されていた病院や施設からの情報を収集し、状態に合わせた必要なサービスを行う様にしている		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	見学に来られた時に食事や利用者の中に入り体験して頂くことを勤めている。本人が安心して出来る様に、馴染みの食器類や家具や写真等を持って来て頂いたり、家族や知人の方等、馴染みのある方にも来て頂けるようにしている		現在昼間の見学という形式をとっているが、ゆくゆくはお泊まりという事を検討し24時間の時間帯の様子を把握してもらい入居していただく。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の得意なことで裁縫を一緒にしたりカラオケ等で楽しんで頂いたりして利用者と共に感じ、家族と同じような思いで支援する様努めている		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族会を開催したり行事等の呼びかけをしている。疎遠の家族には園便りにて日常生活や体調を知らせたり面会時では情報の交換を行ったりして本人の不安や不満をなるべく解消できるように支援している		
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の状況を見極めながら外出や外泊で家族と一緒に過ごすことを勧めたり行事などに参加して頂けるようによりよい関係の継続に努めている		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族と一緒に馴染みの所に外出して頂いたり昔からの知人や友人に来園して頂いたり、また電話や手紙等で交流できる様にしている		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	レクの活動を通して他フロアーの方とも交流をしたり、また個別に話しを聴いたり、相談に乗り、利用者同士の関係が円滑になる様努めている		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後の様子を伺ったり、相談があれば必要に応じて、対応するようにしている		退去後当園の近隣で生活を送られている方には行事の案内を出し、来ていただけるように取り組みたい
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式のアセスメントを活用したり利用者の表情を読み取り、悩み事を聞いたり、最良の方向へ持っていける様に検討している		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者自身や家族の方に生活歴の意味と重要性を説明し、情報を伝えて頂いている。又、センター方式の活用にて把握に努めている		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	利用者が出来ることはして頂く事で、個々の能力、生活のペースを把握し記録する様にしている		
2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族や本人から思いや希望を聞き、反映出来る様、職員全員でアセスメントや意見交換、モニタリングカンファレンスを行うようにしている		カンファレンスには、ご本人・家族も同席するような仕組みを作っていけたらと思う。
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に関わらず状態に変化がある場合は、随時見直しを行うようにしている		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録を書く際は気づきやその時の様子を記入するようにしている。また職員間で状態の把握をして介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者と家族が安心して頂けるように、急な状態変化や緊急時は、移送のサービスや、受診の状態報告等を行い、支援できる様にしている		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	運営推進会議を設けたり、消防訓練や、地域のふれあいサロンに参加している。また民生委員の方を通じ緊急時には地域に方の協力を得られるようにしている		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	利用者の希望により、訪問理容サービスや紙オムツの申請をし給付を利用できるようにしている		
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在のところ地域包括センターとの協働を行った例はない		今後は運営推進会議に参加していただき協働できるように関係を築いていきたい。
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族に事前に話し、事業所の協力病院や往診について説明を行い納得された上でお願いしている。また以前のかかりつけ医には、情報交換や連絡が取れるようにして安心して頂けるように支援している。また往診が2ヶ所あり緊急時には提携してる総合病院を紹介して頂ける体制がある		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣に専門医があり利用者の状況を相談したり、指示や助言をもらっている		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	園に看護職員を配置しており、利用者の健康管理や状態の変化に対応できるようにしている。また体調不良の時は主治医と連絡を取り必要に応じ応診できる様にしている		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時には本人に関する情報を提供し、本人が不安にならない様出来る限りお見舞いに行ったり、必要に応じたサービ ス支援を行っている		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時の説明で終末期に向けた状態の変化に対して事前に家族に相談し出来る限り、支援していけるようにしている。当フロアではターミナルの前例は無いが、勉強会やマニュアルの作成にて職員が共有している。またホスピス病棟を有する医療機関との連携体制がある		
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人や家族の希望を大切に、体調変化時は、医療機関と連携を取り安心出来る様に対応している		
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	これまでの生活環境、支援の内容、個人情報を提供し、きめ細かい連携を心掛けている		
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉掛けや対応時目上の方に対する尊敬の気持ちを忘れない様にしている。また記録や個人情報は利用者や家族の目につかないように配慮して職員同士で常に意識しながら支援している		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	なるべく利用者に意志決定出来る様にこちらから、声掛けする様にしている。意志の伝達が困難な方には、何を伝えたいのかを把握できるように努めている		
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床や就寝、また食事などの時間制限は無く買物や、散歩等、一人一人の状態や思いに配慮しながら支援対応している		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	衣服の選択はなるべく本人がするようにして不十分な所はさりげなく直している。また理髪は基本的には訪問理容を利用しているが、それ以外の希望がある時はその都度対応している		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みのメニューにししたり、調理・配膳・片付け等も、一緒に行い、職員も利用者と同じ物を食べている。時に外食する時もある		
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	当フロアでは飲酒・喫煙される方は無いが、ティータイムが1日3回有り好きなものを飲まれたり、おやつは近所のスーパーで各自の好みの物を買ったりしている		現在は喫煙される方はいらっしゃらないが、今後は防火面、他入居者に気を付け楽しんでいただけるような環境作りを行う
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄表を活用して、時間や習慣を把握し、一人一人の状態に合わせて、声掛けや誘導を行っている		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴日は決めているが、希望がある時は、対応できるようにしている。体調に無理が無い範囲で湯温・時間も好みに合わせている		ゆくゆくは、利用者の希望する時間に入浴できるように支援できるようにしていきたい。
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人の体調に合わせて、昼食後に休息したり、夜間安眠出来るよう、昼間の活動を増やしたり、一人ひとりに対応している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の能力に合わせて生活リハビリを行っている。また過去の経歴を活かした役割や楽しみごとを思い出して頂き活動に努めている		
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の希望に応じて一緒に買い物に行き買物の値段や支払い等に助言しながら支援している		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外出する場合は戸外の天候や気温また利用者の体調等にも配慮し希望者や声掛にて支援している		
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間行事にて家族同行で食事会を開催、個別の外出でお墓参りやお見舞いに行ったり、全員での外出外食の機会を設けて支援している		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者の希望に応じて電話や手紙を出せるよう支援している		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	特に面会の時間制限は無く家族の方や知人の方が時間帯を気にされず訪れられ、笑顔で迎えお茶などを提供してくつろいで頂けるように心掛けている		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	勉強会や資料にて職員の認識を高めていくよう努めている		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	園内ではエレベーターにて自由に移動できるようにしている。また玄関は自動扉の電源は切っており手動で開くようにして声掛けや見守りにて対応している。また近所のかたに利用者の顔や特徴を憶えてもらったりして理解を求め協力して頂けるよう取り組んでいる		毎日出来るように取り組んでいきたい。
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中はなるべく利用者と同じ空間にて目配りするよう心掛けている。夜間は時間ごとに巡回等で利用者の様子を確認しながら事故が無いように努めている		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態を把握しながら危険なものを保管したり、また必要に応じて使用出来るように対応している。また夜勤帯では包丁やハサミ等の危険物は目につかない場所に保管するようになっている		
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態にて危険を予測し未然に防ぐ工夫に取り組んでいる。またヒヤリハットや事故報告書の作成し、各ユニットにファイルにて保管している		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	救急手当や蘇生術の勉強会を設けたり、その後の連絡や対処方法等も全職員が対応できるようにしている		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の消防関係者の方に参加協力して頂き利用者参加のもと職員と避難訓練を実施している。また地域の民生委員の方を通じ地域の方にも協力をお願いしている		
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者の状態を把握しリスクがあると考えられる場合その都度家族に報告相談職員間で対応策を話し合っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	一人ひとりに対し顔色や様子に注意して変化が見られるときはバイタルチェックを行い主治医に連絡し指示を仰ぎ状況により医療受診するようにしている		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ファイルの作成や処方箋をケース毎に整理し職員が内容を把握できるようにしている。また誤薬がないように確認する様にしている		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	状況に応じて繊維質の多い食材や乳製品を採り入れたり運動や腹部マッサージで自然排便出来るよう取り組んでいる		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨きの声掛けや必要に応じて見守り介助を行うようにしている。就寝前は義歯の洗浄を行っている		声掛けるも、朝、夕だけでよいと行われぬ方もいらっしゃるので、歯磨きの理解をして頂き毎食後行って頂けるようにしていく。
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量を毎日チェックして健康状態やバランスを確認するようにしている。また一人ひとりの食べる量や栄養バランス、好みを考えて支援するようにしている		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	事業所内での感染症について勉強会を開催したりマニュアルを作成し予防対策に努めている。定期的に利用者、職員はインフルエンザ等の予防接種を受けている		
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	職員全員が勉強会で理解し食中毒を予防するために手洗いの徹底、まな板ふきんの漂白等行っている。またまな板は肉、魚、野菜等に応じ使い分けている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に手作りの案内板やベンチを設置しプランターに利用者と一緒に花を植えたり近所の方にも立ち寄りやすいようにしている		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとに掲示物や草花を飾ったり匂いのものを使った食事等を取り入れているまたトイレの表示を解りやすくしたり利用者の居室には好みの暖簾を掛けたりしている		

グループホーム アート園

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者皆さんと一緒に過ごせる場所にソファを設置、テレビを観たり話されたりされている。また一人になられる時は居室を利用して頂く様にしている		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みの物やタンスや写真等を置いて居心地良く過ごせる様にしている		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に換気扇を使用しており掃除の時や利用者の状態に合わせて換気と冷暖房の調整をしている		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、お風呂、トイレでは手すりを使用し、バリアフリーになっている。また通路には転倒の危険性が無いよう障害物をなくすようにしてる		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレが解りやすいように案内板で絵、矢印にて掲示したり居室の入り口に利用者の好みの暖簾を掛けて混乱し無いうに工夫してる		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダに花や野菜を植え水やり等も利用者が役割を持ってされている。また玄関先にベンチを設置し日光浴をしたり憩いの場になっている		

グループホーム アート園

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
96	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

グループホーム アート園

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
100	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者個々の持っている残存能力を活かし高齢者の方々が楽しく健やかに暮らせる様に職員がゆとりを持って介護致します、また地域の人々との交流を深め地域に開かれた園作りに努めたいと思います